

## ④6 ベビーリーフを育てよう

# プランターで通年可能

ベビーリーフは、さまざまな野菜（レタス類やコマツナなどツケナ類、カブ、バクチー、ハウレンソウなど）を若葉で収穫するものの総称です。葉が柔らかく、みずみずしいのが特徴で、プランターでも栽培でき、畑がなくても一年中野菜栽培を体験できます。

### 1. 種子

サニーレタスなどのレタス類やコマツナなどの種子を混ぜたものが市販されていますが、自分で栽培するために購入したミズナ、コマツナ、カブ、ハウレンソウなどの余った種を活用してもよいです。

### 2. プランターの準備

今回はプランターを使用した栽培を紹介します。深さが18センチ程度ある市販のもの（サイズは60センチ×20センチ×18センチ程度、用土10割）でよく、置き場所に合わせた大きさのもので大丈夫です。

### 3. 用土の準備

排水が良く有機物を多く含む土が良く、自分で配合する場合の例では、赤玉土7割、鹿葉土2割、バーミキュライト1割を混合して使います。できた用土10割に対し、堆肥200グラム、化成肥料（成分8・8・8）10グラム、苦土石灰10グラムを土とよく交ぜます。市販の培養土を使用しても構いません。

### 4. 播種

発芽を安定させるため、播種前にかん水して培養土を湿らせておきます。板で深さ1センチ、条間は10センチで2条の溝を切り、1センチ間隔で播種し、覆土して土を押さえます。播種したらかん水します。

### 5. 間引き

種子の込み合うところは順次2、3センチ間隔に間引きします。追肥は基本的に不要ですが、葉色が薄くなったら、培養土10割に対し追肥用化成肥料を3グラム施します。

### 6. ビニール被覆

レタス類、ツケナ類ともに15～25度程度の生育適温に合わせ、冬はビニールで被覆し、日当たりの良い場所に置きましょう。夏は寒冷紗で遮光します。

### 7. 病害虫

ビニールを被覆している間はアブラムシが発生しやすいです。春秋はアオムシ、コナガに気を付け、防虫ネットなどで予防します。

### 8. 収穫

株が大きくなったものから草丈10～15センチを目安にはさみで切り取り収穫します。

（鹿児島市都市農業センター）

